

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	高速道路の上下線を誤り高速道路上を徒歩で横断した事例
3. 体験した事例の中心的要素	高速道路法面の火災に出動途上、無線が錯綜し無線交信ができず、上り、下りを間違え本線に流入してしまった。走行と反対側の車線法面の火災現状を確認、そのまま通り過ぎれば良かったのだが、火災の炎上具合、交通量の少なさ及び上り下りの境がガードレールで乗り越えられそうだったため横断してしまった。
4. 体験した事例の原因・理由	現場を間違えた焦りから間違った判断をしてしまった。 高速道路での対応マニュアルを熟知していなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成31年1月30日 午後0時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:新東名高速道路 法面
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[その他:法面火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	火点間の移動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[49]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[25] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[31]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[8] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

.....

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	AとB	火災場所の確認	
経過2	A	無線交信をしたが無線が入らない状態だった	
経過3	AとB	現場間違いに気づく	
経過4	A	現場付近に停止するよう指示	
経過5	A	状況を確認して横断することが決定	
経過6	AとBとC	新東名上り及び下りを横断する	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

●●●

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難退避がうまくいった 周囲の視界が確保できていた たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

